

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

1. 社協組織の充実と会員の拡大

高齢になっても障がいがあってもすべての人が、いままで大切にしてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていく「地域福祉」の推進を目的として、社協組織を運営し、事業推進における自主財源確保に努めた。

- (1) 理事会、評議員会を開催し情報の共有化を図るとともに、社協関連組織全体での研修会を開催、地域福祉についての理解を深め事業推進に努めた。

ア. 理事会の開催

第1回	平成30年5月15日
議案第1号	平成29年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号	平成29年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第3号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会経理規程の一部改正について
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
議案第5号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事候補者の選任について
議案第6号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
議案第7号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第2回	平成30年5月29日
議案第8号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会副会長の選定について
第3回	平成30年9月27日
議案第9号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会運営基金取崩しについて
議案第10号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について
議案第11号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
議案第12号	平成30年度大口町表彰式に係る被表彰者の選考について
議案第13号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会おたすけ隊サービス事業実施要綱について
議案第14号	平成30年度第3回社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の日時及び場所等について
報告第1号	会長の職務執行状況報告について
第4回	平成31年3月15日
議案第15号	平成30年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第3号）について
議案第16号	平成31年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第17号	平成31年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
議案第18号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会非常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について

議案第 19 号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービスミニデイ事業運営規程の一部改正について
議案第 20 号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決に係る第三者委員の選任について
議案第 21 号	平成 30 年度第 3 回社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の日時及び場所等について
報告第 2 号	会長の職務執行状況報告について

イ. 評議員会の開催

第 1 回	平成 30 年 5 月 29 日
議案第 1 号	平成 29 年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第 2 号	平成 29 年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第 3 号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算 (第 1 号) について
議案第 4 号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について
第 2 回	平成 30 年 10 月 10 日
議案第 5 号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会運営基金取崩しについて
議案第 6 号	平成 30 年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算 (第 2 号) について
第 3 回	平成 31 年 3 月 27 日
議案第 7 号	平成 30 年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算 (第 3 号) について
議案第 8 号	平成 31 年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第 9 号	平成 31 年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
報告第 1 号	会長の職務執行状況報告書について

ウ. 研修会の開催

「平成 30 年度大口町社会福祉協議会合同研修会」

対象 社会福祉協議会理事・監事・評議員、民生委員・児童委員

進行 社会福祉協議会 地域福祉部門職員

開催日	場所	内容	参加数
平成 31 年 3 月 4 日	健康文化 センター 1 階 多目的室	「生活支援でひろがる地域福祉～地域共生社会を考える」 ・地域福祉の見直しとふれあいサロン、生活支援おたすけ隊サービスの進捗状況。 ・制度の狭間のサービスとして、独自事業のヘルパー・デイサービス、町くらし資金貸付制度、食料支援、総合福祉相談事業の紹介。 ・個別支援の事例報告、民生委員による生活福祉資金貸付事業の活動報告。写真で見える化！大口社協、意見交換等	52 名

(2) 自主財源確保に努め、相互扶助推進の高揚を図り、会員募集に努めた。

*会員募集期間／7月～8月

*会費金額

一般会員 500円・賛助会員 1,000円・法人会員 3,000円

ア. 会員募集加入状況

*上段は平成30年度実績・下段は平成29年度実績

区分	加入数	金額	増減額	加入率
一般・賛助	4,746件	2,455,500円	▲19,000円	55%
	4,844件	2,474,500円		56%
法人	97件	580,000円	52,000円	/
	85件	528,000円		
その他	94件	25,150円	13,650円	
	23件	11,500円		
合計		3,060,650円	46,650円	
		3,014,000円		

(加入率：各年度6月1日時点の大口町行政区別集計世帯数から寮世帯を除いた世帯数に対する会員加入数から算出)

2. 広報・啓発活動

町民の方々に広報やホームページなどさまざまな媒体を通して社協情報を発信した。

(1) 広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、「広報おおぐち」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信をした。

*社協だより発行月 4月・7月・10月・1月

*発行部数 8,800部

(2) 公式ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。

(3) 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから福祉情報を発信した。

(4) 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努めた。

①ボランティア参加数 11団体96名

②スタンプラリー体験者数 474名

開催日	場所	参加団体	実施内容
11月3日	中央公民館 駐車場	①高齢者疑似体験 うさぎとかめ	装具体験、高齢者体験
		②大口町手話サークル	手話体験、クイズ
		③防災ボランティア ・サポート丹羽	防災クイズ、災害義援金募集
		④災害救援ボランティア	はそりを使った炊出し実演、災害用グッズ作り
		⑤ボランティアなでしこ	手作り作品販売
		⑥大口絆つなぐネット	災害時炊き出し訓練
		⑦おもちゃ病院おおぐち	おもちゃ修理、回収
		⑧トヨタ紡織株	車いす掃除、古本回収
		⑨大口町共同募金委員会	赤い羽根共同募金、ポスター・書道展示
		⑩大口町社会福祉協議会	スタンプラリー受付 景品受渡し
		⑪大口社協介護事業所	障がい者スポーツ体験 介護事業所パネル展示
11月4日	おもちゃ 図書館	⑫大口おもちゃ図書館 さくら	おもちゃ遊び、バザー

(※) 災害時炊き出し訓練は「16. 防災・災害事業」(2)の項目で別記

3. ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、NPO、市民活動団体等の機関との連携を図れるようコーディネートした。

- (1) 町内児童センターにおいて、ボランティアサークルが「夏休みボランティア出前講座」を行い、児童クラブ・児童センターを利用する児童や地域住民を対象に、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。

ア. 夏休みボランティア出前講座

開催日	サークル名 (人数)	場所	内容	参加数
8月10日	災害救援 ボランティア (13名)	西児童 センター	災害時に命を守るロープの結び方、新聞紙スリッパ、三角巾を使った応急処置を覚えよう	69名
8月17日	おもちゃ図書館 さくら (3名)	北児童 センター	いろいろなおもちゃの紹介、おもちゃで遊ぼう (パラバルーン等)	18名
8月23日	レクリエーション ボランティアここね (8名)	南児童 センター	レクリエーションボランティアと楽しもう (歌、踊り、紙芝居等)	44名

- (2) 養成講座や研修を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

ア. 手話ボランティア養成講座(全12回)

講師 大口町手話サークルコスモス 玉置 より 氏

大口町手話サークルコスモス 市瀬 明美 氏(手話通訳者)

成果 手話初心者の入門講座を開催し、若い世代が複数受講した。受講後にボランティアサークル活動への参加につながり、新たなボランティアの人材育成と既存のサークルの補強を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
11月1日	健康文化センター4階 ふれあい2	開講式、身振り、挨拶について	12名
11月8日		名前、住所、家族について	14名
11月15日		趣味について	12名
11月22日		数、月日の表現について	15名
11月29日		仕事について	12名
12月6日		第1～5講座までのまとめ	11名
12月13日		都道府県名について	11名

開催日	場所	内容	参加数
12月20日	健康文化センター1階 多目的室	一日、一年間について 手話サークル見学	13名
1月10日		会話練習について	14名
1月17日		まとめ	11名
1月24日		手話サークル会員との交流会	8名
1月31日		成果発表・修了式	14名

イ. レクリエーションボランティアスキルアップ研修

講師 日本レクリエーション協会公認指導者 中野 金弘氏

成果 昨年度、養成講座を経てサークルを立ち上げたレクリエーションボランティアを対象に、スキルアップ研修を開催。新たなレクリエーションの習得と、ボランティア活動の意欲向上を図ることができた。

開催日	場所	内容	参加数
3月20日	健康文化センター4階 ふれあい2	レクリエーション指導 身近な物を使った楽しいレクリエーション	7名

ウ. 傾聴ボランティアスキルアップ研修会

講師 一宮市ボランティア団体「みみの木」代表 早川 一枝氏

成果 ふれあいサロンや高齢者施設等で、傾聴を活かした活動を行っているボランティアを対象に、改めて傾聴の基礎を認識する研修を開催。話し手への向き合い方を整理し、傾聴スキルの向上を図ることができた。

開催日	場所	内容	参加数
3月22日	健康文化センター1階 多目的室	傾聴の基礎の振り返り 事例を通してグループワーク 質疑応答	13名

(3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催し、平成30年度研修テーマ「ボランティアの力をつけよう(そして仲間を増やそう)」について学び相互の交流を深めた。

開催日	場所	内容	参加数
7月13日	犬山市福社会館	NPO法人犬山市市民活動支援センターしみんてい代表の講話 NPO活動を知り、仲間を増やす学びとなる研修を行った。	29名

(4) 「社協だより」にボランティアコーナー「ボランティア情報局」を掲載し情報を発信した。

(5) ボランティア登録団体への活動育成費を助成した。

助成団体	助成金額
19 団体	277,069 円

(6) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての研修活動を支援した。

ア. 平成30年度テーマ「ボランティアの力をつけよう(そして仲間を増やそう)」に関する研修活動

開催日	講師・研修先	内容
5月11日 (第1回)	大口町地域協働課 前田 真紀氏 まちねっと大口 和田 由美氏	「ボランティアの力をつけよう仲間を増やそう」
7月13日 (第2回)	犬山市市民活動支援センターしみんてい 代表 川島 紀之氏	「ボランティアの力をつけよう仲間を増やそう」
9月14日 (第3回)	江南市 永正寺 副住職 中村 建岳氏	講話「高齢者が骨折しやすい四大部位」
11月9日 (第4回)	南天訪問看護ステーション 理学療法士 村瀬 力真氏	「身近にできる筋力アップ」
1月11日 (第5回)	丹羽消防署大口出張所職員	「AED・心臓マッサージと緊急対応」
3月8日 (第6回)	ながお在宅クリニック 理事長 長尾 強志氏	「医師からの立場・ボランティアとして対応の仕方」

(7) ボランティア保険の加入及び事故時の保険金請求等の事務手続きを行った。

ア. ボランティア登録者状況 (ボランティア活動保険加入者数)

* 上段は平成30年度実績・下段は平成29年度実績

	団体数	人数	男性	女性
グループ	52	858名	319名	539名
	54	947名	368名	579名
個人		8名	3名	5名
		5名	1名	4名
計		866名	322名	543名
		952名	369名	583名
増減人員		▲87名	▲47名	▲40名

イ. ボランティア保険の対象事故件数 0件

(8) 町内企業と連携を図り協働事業を行った。

(※) トヨタ紡織(株)との協働事業は「2. 広報・啓発活動」(4)の項目で別記

(9) ボランティア派遣依頼の調整を行った。

ア. 相談及び派遣件数

相談件数	派遣件数
10件(※)	8件

(※) 相談件数は、本会の派遣決定を要さない相談・連絡調整のみの件数を含む

イ. 上記派遣件数のうち、学校からの依頼による派遣

協力団体 高齢者疑似体験 うさぎとかめ

開催日	場所	内容	参加数
10月25日	尾北看護専門学校	老年看護学概論の講義として、学生を対象に高齢者疑似体験の実践指導	45名

(10) 他市町村のボランティア・社協と共催して、西尾張ブロックボランティアフェスティバルを開催した。

ア. 西尾張ブロックボランティアフェスティバル

実施日	場所	内容	参加数
12月16日	愛西市 親水公園 総合体育館	「伝われボランティア見つけよう新しい出会い」をテーマに、西尾張ブロック14市町村のボランティア団体・社会福祉協議会と共催し、ブース出展活動による発表と相互交流、グループワーク等を実施した。	550名 (会全体)

(11) 地域防災の一端(ボランティア対策部)を担う社協として、大規模災害時に備え関係団体等との情報共有と連携強化に努めた。

(12) ボランティアセンター運営委員会を開催した。

ア. ボランティアセンター運営委員会

実施日	場所	内容	参加数
6月13日	健康文化センター1階 多目的室	副委員長選任、ボランティアセンター登録状況の報告、ボランティア連絡協議会の概要説明、ボランティア合同研修会等について意見交換	11名

4. 児童福祉

次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施することにより、命の大切さや「ともに生きる」力を育くみ、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進した。

(1) 町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を実施した。

ア. 参加人数・実施科目等

学校名	学年	教室数	参加人数	月日	実施科目
大口中学校	1年生	7教室	216名	5月28日～ 5月30日	知的障がい・ 発達障がい理解
南小学校	3年生	2教室	46名	11月22日	手話教室
	4年生	1教室	33名	6月20日	点字教室
		1教室	34名	6月20日	視覚障がい者ガ イドヘルプ
	5年生	1教室	48名	7月6日	車いす体験
	6年生	1教室	56名	12月5日	盲導犬教室
北小学校	3年生	1教室	32名	2月1日	車いす体験
		1教室	33名	2月1日	手話教室
		1教室	32名	2月1日	高齢者疑似体験
		1教室	97名	3月5日	盲導犬教室
西小学校	3年生	2教室	70名	10月18日	手話教室
	4年生	3教室	100名	10月3日 10月4日 10月9日	点字教室
		1教室	100名	11月27日	盲導犬教室
	5年生	1教室	38名	6月18日	高齢者疑似体験
		1教室	36名	6月18日	認知症キッズサポ ーター養成講座
	6年生	1教室	103名	7月3日	車いす教室
		1教室	73名	12月7日	防災教室
		1教室	30名	12月7日	視覚障がい者ガ イドヘルプ
4小中学校合計		28教室	延1,177名		

(2) 子育て支援サークルに助成した。

(3) おもちゃ病院おおぐちの活動を支援した

(4) 青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。

期間	場所（町内高齢者及び児童福祉施設等）	参加数
8月17日 20日 21日 23日 24日	①軽費老人ホーム 大ロ一期一会荘 ②特別養護老人ホーム 御桜乃里 ③グループホームしん・かむおん ④デイサービスゆい ⑤大口社協デイサービスセンター ⑥南・北・西児童センター ⑦南・北・西・中保育園 ⑧大口幼稚園、ラ・モーナ幼稚園	81名 (大口中学校 JVC)

(5) 民生委員児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼントした。

項目	5ヶ月訪問	1歳訪問
配布数（品目）	244名（絵本）	254名（スプーンセット）

(6) 子育てサロン「まむ・まむ」の活動支援を行った。

（※）「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(7) 親子や家族で参加できる家族福祉教室（施設見学バスツアー）を実施し、家族で福祉について考える機会を提供した。

見学施設数 14か所（うち施設内見学3か所、給食試食1か所）

参加者数 31名（大人26名、小学生5名）

開催日	種別	施設名称	見学方法
8月8日	高齢者	ゴールドエイジ大口	施設内見学・説明
	高齢者	デイサービスゆい	施設内見学・説明
	高齢者	軽費老人ホーム一期一会荘	施設内見学 給食試食
	高齢者	特別養護老人ホーム 御桜乃里	外から見学・資料により施設紹介
	障がい者	ハートフル大口	
	児童	発達支援室 ふきの塔・そらま芽	
	高齢者	みつばのシルバーハウスおおぐち	
	児童	放課後等デイサービスぼけっと	
	高齢者	有料老人ホーム 太郎と花子	
	高齢者	老人保健施設 さくら荘	
	高齢者	大口社協デイサービスセンター 大口町生きがい活動支援センター	
	高齢者	NPO法人わたぼうし	
	高齢者	じゃがいもグループホームしん・かむおん	
高齢者	Kライン・ケアレジデンス大口		

5. 高齢者福祉

高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開し、さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めた。

- (1) 民生委員児童委員と大口水彩画クラブの協力で、85歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配と絵手紙を届けた。

実施日 平成30年12月30日

* 上段は平成30年度実績・下段は平成29年度実績

項目	単身高齢者世帯	高齢者世帯	合計
配布数	51世帯	10世帯	61世帯
	45世帯	10世帯	55世帯

- (2) 満88歳の米寿の方を対象に、ご自宅を訪問し、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈した。

実施期間 平成30年4月～平成31年3月

* 上段は平成30年度実績・下段は平成29年度実績

配布月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配布数	5	3	4	8	8	5	6	10	4	9	6	9	77名
	3	0	3	4	1	6	4	6	7	7	5	9	55名

- (3) 「社協だより」に介護者向け情報「介護豆知識」を掲載し、情報を発信した。

- (4) 弁護士による相談日を設けた。

高齢者・障がい者のための弁護士相談

開催日 第4水曜日 13:30～16:30

(※)「12. 相談事業」(1)の項目で別記

- (5) 認知症の当事者家族の支援や介護予防の取り組みとして、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援した。大口町地域包括支援センターと大口町歴史民俗資料館の協力を得て、介護相談や回想法を取り入れたレクリエーションを実施した。

開催日 毎月第3木曜日 13:30～15:00

場所 大口町生きがい活動支援センター

ア. オレンジカフェ・大口 開催実績

開催日	内容	参加数	内スタッフ数
4月20日	昔なつかしい道具たち（蒸し器）	27名	6名
5月18日	昔なつかしい道具たち（黒電話）	30名	7名
6月15日	昔なつかしい道具たち（田植え）	25名	7名
7月20日	昔なつかしい道具たち（洗濯）	30名	7名
8月17日	昔なつかしい道具たち（お盆の風習）	29名	6名
9月21日	昔なつかしい道具たち（害虫・害獣駆除）	31名	7名
10月19日	昔なつかしい道具たち（秋の旅行）	30名	6名
11月16日	昔なつかしい道具たち（かまど）	30名	8名
12月21日	昔なつかしい道具たち（年越し）	30名	7名
1月18日	昔なつかしい道具たち（お正月あそび）	27名	5名
2月15日	昔なつかしい道具たち（節分の風習）	30名	6名
3月15日	昭和イントロクイズ、3周年祝	30名	6名
合計		延349名	78名

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(6) 介護者のつどいを開催し、介護者同士の交流の場やリフレッシュできる機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
11月9日	生きがい活動支援センター	・アロマハンドマッサージ講座 ・介護者同士の茶話会	12名

(7) 孤立しやすい高齢者等を含め、地域住民の交流の輪を広げる「地域ふれあい会食会」の開催を支援した。

ア. 地域ふれあい会食会 開催状況

実施日	場所	参加数
9月12日	河北区ふれあいサロン 陽だまり（仲沖集会場）	60名
11月14日	外坪区ふれあいサロン ほっこり（外坪学共）	56名
11月14日	河北区ふれあいサロン 陽だまり（河北学共）	62名
12月12日	河北区ふれあいサロン 陽だまり（二ツ屋学共）	66名
2月17日	さつきヶ丘区ふれあい（さつきヶ丘防災センター）	98名
3月19日	さつきヶ丘区元気会（さつきヶ丘防災センター）	15名
3月23日	上小口萩島地区ふれあいサロン茶々会（萩島集会場）	23名
合計		380名

6. 障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていくことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めた。

- (1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第34回大口町障がい者スポーツ大会」を開催し、障がいをお持ちの方とその家族が、スポーツをとおして仲間や地域住民、ボランティア、民生委員児童委員等と交流をはかり、社会参加の一助となる機会を提供することができた。

参加者 身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、その他一般参加協力団体 丹羽高校吹奏楽部、仲沖太鼓クラブ、江南ロータリークラブ、(株)東海理化、民生委員・児童委員協議会、ボランティア連絡協議会

開催日	場所	内容	参加数
6月8日	中央公民館 集会室	ボランティア、民生委員児童委員の協力により、大会会場準備	57名
6月9日		ナイスシュート、車いす競争 パン食い競争、デカパン競争 玉入れ ボッチャの障がい者スポーツデモン ストレーション、丹羽高校バンド演 奏、総踊り	298名

- (2) 重度身体障がい者日帰り事業を開催し、外出の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
10月19日	モネの池・古今伝授 の里フィールドミュ ージアム・郡上八幡	貸切りフト付きバス利用。モ ネの池見学。古今伝授の里フ ィールドミュージアムにて昼 食、郡上八幡散策等。	15名

- (3) 大口おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援した。
- (4) 弁護士による相談日を設けた。
(※)「12. 相談事業」(1)の項目で別記
- (5) 大口町障害者等地域生活支援事業(移動支援事業)を受託した。
(※)「15. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記
- (6) 精神障がい者を対象とするふれあいサロン「フリースペース れんげそう」の運営を支援した。
(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(7) 福祉関係団体の障がい者スポーツの活動を支援した。

(※) 障害者スポーツ用具の貸出については「14. 貸出事業」の項目で別記

7. 母子父子福祉

ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進した。

(1) ひとり親家庭日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
8月4日	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (大阪府)	貸切大型バスを利用。アトラクションの体験等	16家族 41名

(2) 母子家庭等に対する相談事業として、相談日を月1回設けた。

県母子父子自立支援員による母子父子自立支援相談

開催日 第1水曜日 10:00～15:30

(※) 「12. 相談事業」(1)の項目で別記

(3) 母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努めた。

(4) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈った。

項目	お祝金	件数	合計件数
小学校	3,000円	1件	14件
中学校	3,000円	4件	
高校等	5,000円	9件	

(5) 母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援した。

8. ふれあいサロン事業

ふれあいサロン立ち上げの支援や活動費に対する助成を行いながら、地域の見守り活動や地域の活性化につながるよう運営についての相談や支援を行った。

(1) サロン設立初年度における備品助成を行った。

対象サロン数	助成金額
1 か所	10,778 円

(2) 開催実績回数（上限48回）に応じ助成を行った。

対象サロン数	助成金額
14 か所	353,000 円

(3) サロンに対するボランティア行事用保険の加入手続きを行った。

ア. 事故件数 0件

(4) サロン活動に必要な備品の貸出を行った。

(5) サロンのPRや広報等ちらしを作成し活動を支援した。

(6) 地域サロンの運営関係者が一同に会し、情報交換できる「ふれあいサロン連絡会」を開催した。

ア. ふれあいサロン連絡会

場所：健康文化センター1階 多目的室

開催日	内容	参加数
平成31年 3月28日	社協の支援する町内のふれあいサロン15カ所（地域サロン9カ所、テーマ型サロン6カ所）の運営代表者が参加し、初めて全サロンが集まって開催。 各サロンより自己紹介、具体的な活動内容や運営者の思いを伝え合った。 社協より、全国の社協がふれあいサロンを支援している理由、サロンの効果について説明。 今後のサロン支援の内容について、連絡及び質疑応答。	25名

平成30年度ふれあいサロン開催状況一覧

	種別	サロン名	開催日	場所	開催回数 参加者数
1	地域	外坪 ほっこり	第2・第4水曜日 9:00～12:00	外坪学共	24回開催 延1,020名
2	地域	大屋敷新田 いっぷく茶屋	第1土曜日 9:30～11:30	新田集会場	12回開催 延468名
3	地域	上小口萩島 茶々会	第2土曜日 13:30～16:00	萩島集会場	13回開催 延123名
4	地域	さつきヶ丘 サロンさつき	毎週水曜日 10:00～16:00	さつきヶ丘 防災センター	48回開催 延2,800名
5	地域	さつきヶ丘 元気会	第1金曜日 第3火曜日 13:00～15:30	さつきヶ丘 防災センター	19回開催 延209名
6	地域	大屋敷 にこにこ	第1・第3水曜日 9:30～11:30	大屋敷学共	23回開催 延294名
7	地域	河北 陽だまり	第2水曜日 9:30～11:30	河北区学共、仲沖集 会場、二ツ屋学共	11回開催 延597名
8	地域	替地 ふれあいサロン	第2・第4日曜日 21日9:00～12:00	替地集会場	14回開催 延103名
9	地域	豊田 どんぐりころころ	毎週金曜日 13:30～15:00	豊田学共	47回開催 延793人
10	障がい	フリースペース れんげそう	第2・第4木曜日 13:00～16:00	健康文化センター 4階 和室	24回開催 延342名
11	障がい	忘れな草の会	水曜日月2～4回 9:00～16:00	健康文化センター 2階または4階	42回開催 延332名
12	傾聴	傾聴サロン 笑桜会	第3火曜日 13:00～15:00	老人福祉センター 1階 研修室	11回開催 延138名
13	子育て	子育てサロン まむ🌸まむ	毎週火曜日 10:00～12:00	健康文化センター 2階おもちゃ図書館	50回開催 延834名
14	介護・認 知症予防	オレンジカフェ・ 大口	第3木曜日 13:30～15:00	生きがい活動支援 センター	12回開催 延349名
15	介護予防	青空あかりサロン (平成30年度新規)	第3水曜日 13:30～15:00	大口ケアセンター あかり2階	6回開催 延75名
サロン数合計			15か所	開催回数合計 参加者数合計	356回 延8,477名

9. 福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

団 体 名	金 額
身体障害者福祉協会	450,000 円
心身障害児（者）親の会	110,000 円
更生保護女性会	10,000 円
遺 族 会	380,000 円
母子寡婦福祉会	80,000 円
保護司会	10,000 円
大口しらゆり会	40,000 円
尾北地区聴覚障害者福祉会	10,000 円

10. 共同募金（大口町共同募金委員会事務局）

共同募金運動への理解・協力を高めるため、募金の意義についての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めた。

- (1) 大口町共同募金委員会運営委員会を年3回開催し、共同募金事業計画を策定し共同募金運動の推進を図った。

ア. 大口町共同募金委員会運営委員会

開催日	場所	内容
平成30年 6月11日	健康文化 センター1階 会議室	平成29年度の実績・監査結果報告 平成30年度の募金目標額及び赤い羽根共同募 金配分金事業について
平成30年 9月3日	健康文化 センター1階 多目的室	第70回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール の第一次審査 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい街頭募金 活動について
平成31年 2月22日	健康文化 センター1階 会議室	平成30年度赤い羽根共同募金実績報告 災害義援金送金実績報告 児童生徒作品コンクール結果報告 大口町共同募金委員会運営委員の選任について

イ. 赤い羽根共同募金：期間 10 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率	
3,500,000 円	戸別	11 区	2,408,160 円	70,402 円	99.5%
		11 区	2,337,758 円		
3,500,000 円	法人	6 社	68,000 円	8,000 円	
		4 社	60,000 円		
	街頭	5 回	96,146 円	11,380 円	
		5 回	84,766 円		
	職域	32 社	506,552 円	15,061 円	
		31 社	491,491 円		
	学校	4 校	69,357 円	69,357 円	
		-	-		
	その他	4 件	337,340 円	▲27,594 円	
		4 件	364,934 円		
	合計		3,485,555 円	146,606 円	
			3,338,949 円		

ウ. 歳末たすけあい募金：期間 12 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率	
145,000 円	街頭	3 回	63,475 円	▲3,640 円	94.7%
		3 回	67,115 円		
	職域	16 社	58,572 円	24,369 円	
		17 社	34,203 円		
140,000 円	法人	0 社	0 円	0 円	
		0 社	0 円		
	その他	2 件	20,000 円	▲23,768 円	
		6 件	43,768 円		
	合計		142,047 円	▲3,039 円	
			145,086 円		

(2) 共同募金配分金事業の推進と充実を図った。

(3) 共同募金配分金事業を広く PR をし、協力事業所の拡大と、住民の認識を高めた。特に職域募金について、従業員間で直接募金を呼びかける職域募金活動の輪を広げる「赤い羽根共同募金バトンリレー」を支援した。

ア. 赤い羽根共同募金バトンリレー募金実績

実施日	実施事業所	募金額	参加数
10月3日	東久株式会社	49,100円	東久株式会社 社員 15名 大口町共同募金委員会役職員 6名

(4) 町内店舗、ふれあいまつり等において協力団体による街頭募金を実施した。

ア. 街頭募金実績

実施日	募金種別	実施場所	募金額	協力・実施団体
10月2日	赤い羽根共同募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	44,463円	大口町民生委員 児童委員協議会
10月7日	赤い羽根共同募金	町民体育祭	26,316円	ボーイスカウト 大口第1団
11月3日	赤い羽根共同募金	ふれあいまつり	25,367円	大口絆つなぐネット 大口町共同募金委員会
12月23日	歳末たすけあい募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	63,475円	大口町 更生保護女性会

(5) 募金機能付自動販売機を設置し募金活動の普及に努めた。

ア. 募金実績 (※赤い羽根共同募金の「その他募金」実績額に含まれる)

設置場所	募金額
軽費老人ホーム大口一期一会荘 1階	324,776円
大口町健康文化センター1階	

(6) 災害復興義援金の窓口を設置し、募集・送金を行った。

ア. 送金実績

義援金名称	送金額
熊本県地震災害義援金	21,373円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	1,301円
平成30年大阪府北部地震義援金	27,349円
平成30年米原市竜巻災害義援金	1,648円
平成30年7月岐阜県豪雨災害義援金	13,967円
平成30年7月豪雨島根県災害義援金	13,967円
平成30年7月豪雨高知県災害義援金	13,967円
平成30年7月豪雨岡山県災害義援金	40,571円
平成30年7月広島県豪雨災害義援金	554,967円
愛媛県豪雨災害義援金	39,967円
平成30年7月豪雨災害義援金(京都府)	39,967円
兵庫県平成30年7月豪雨災害義援金	13,967円

山口県平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	39,967 円
平成 30 年 7 月福岡県豪雨災害義援金	39,967 円
平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金	115,990 円
合 計	978,935 円

11. 貸付事業

安定した生活を図るために他の資金の借り入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯にご利用いただく貸付事業を行った。

さらに、貸付世帯に対する貸付後の訪問や相談支援を行いながら、償還指導を包括的に行った。

(1) 生活福祉資金貸付制度

ア. 相談件数 18 件

項目	福祉資金		教育支援資金
	福祉費	緊急小口資金	
件数	3 件	14 件	1 件

イ. 貸付状況

資金種類		件数	貸付金額(元金) (1)	貸付利子 延滞利子(2)	累計償還額 (3)	*未償還額 (滞納額を含む)(4)
福祉 資金	福祉費	2 件	1,840,000 円	101,044 円	1,249,440 円	691,604 円
	緊急小 口資金	7 件	570,000 円	437,831 円	89,403 円	918,428 円
離職者支援資金		1 件	2,400,000 円	2,114,515 円	54,140 円	4,460,375 円
総合支援資金		4 件	1,734,000 円	670,577 円	107,083 円	2,297,494 円
教育 支援 資金	教育 支援費	4 件	2,415,000 円	319,171 円	868,520 円	1,865,651 円
	就学 支度費	2 件	4,060,000 円	220,000 円	4,267,913 円	12,087 円
計		20 件	13,019,000 円	3,863,138 円	6,636,499 円	10,245,639 円

*未償還額 (4)=(1)+(2)-(3)

(2) 県くらし資金（愛知県社会福祉協議会 原資 200,000 円）

ア. 貸付状況

*上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円

*未償還額 (3)=(1)-(2)

(3) 町くらし資金（大口町社会福祉協議会 原資 2,000,000 円）

ア. 貸付状況

* 上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
32 件	1,052,000 円	363,000 円	689,000 円
41 件	1,064,771 円	345,771 円	719,000 円

*未償還額 (3)=(1)-(2)

(4) 緊急一時貸付等

生活困窮者の緊急一時的な食糧不足に対し、民間団体（フードバンク）から食糧を取り寄せたり、企業から寄贈された食品を活用したりして提供した。

ア. 支援件数 13 件

12. 相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みごとや地域における問題解決のための相談を行った。

(1) 心配ごと相談所

第1・第3水曜日 10:00～15:30

県女性相談員による女性相談、県母子父子自立支援員による自立支援相談
（第3水曜日は県女性相談員による女性相談のみ）

第4水曜日 13:30～16:30

高齢者・障がい者のための弁護士相談

ア. 相談状況

* 上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

件数	相談者性別等
37 件	男性 5 名・女性 31 名・その他 法人 1
34 件	男性 2 名・女性 32 名

イ. 相談内容

相談内容															合計
生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
2	5	7	7	17	3	6	1	6	9	0	2	5	1	0	71

(2) 総合福祉相談窓口常設

病気や障がい、認知症、生活困窮等、さまざまな理由により生じた日常生活の困りごとに関して、幅広く相談に応じた。必要に応じて、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理や書類等の預かり等を行った。

ア. 相談状況

* 上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

内容	件数
問合せ・相談のみ	7 件
	2 件

イ. 金銭管理等を含む相談支援の内訳

総合福祉相談事業契約者数 6 名（男性 2 名・女性 4 名）

金銭管理、書類等預かりを含む相談援助の延べ支援件

* 上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

対象者	契約者数	延べ支援件数
認知症等高齢者	1 名	169 件
	1 名	71 件
知的障害者 精神障害者	5 名	560 件
	4 名	147 件
合計	6 名	729 件
	5 名	218 件

1 3. 日常生活自立支援事業

専門員による相談窓口を開設し、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

- (1) 福祉サービス利用に関する相談・情報提供や手続きの支援
- (2) 日常的な金銭管理サービス
- (3) 書類や通帳等の預かりサービス

ア. 相談状況 問合せ・相談のみ（初回相談受付含む）

*上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

対象者	件数
認知症高齢者	2 件
	1 件
知的障害者	5 件
	1 件
精神障害者	0 件
	5 件
不明・その他	1 件
	0 件
合計	8 件
	7 件

イ. サービス利用状況

福祉サービス利用援助契約者数 5 名（男性 2 名・女性 3 名）

金銭管理、書類等預かりを含む相談援助の延べ支援件数

*上段は平成 30 年度実績・下段は平成 29 年度実績

対象者	契約者数	延べ支援件数
認知症高齢者	0 名	0 件
	0 名	0 件
知的障害者	4 名	927 件
	1 名	337 件
精神障害者	1 名	382 件
	1 名	386 件
不明・その他	0 名	0 件
	0 名	0 件
合計	5 名	1,309 件
	2 名	723 件

ウ. 生活支援員 2 名（女性）

14. 貸出事業

町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出サービスを行った。

目的：地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援

- (1) 車椅子 (2) 松葉杖 (3) 福祉車両・普通自動車 (4) 綿菓子機
(5) ポップコーン機 (6) 福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ)
(7) 障がい者スポーツ用具 (ドッジビー・ボッチャ・ディスクゲッター等)

ア. 貸出状況 * 上段は平成30年度実績・下段は平成29年度実績

種 類	件数
車イス・松葉杖	111 件
	107 件
福祉車両・普通自動車	27 件
	10 件
綿菓子機・ポップコーン機	18 件
	17 件
福祉教材・サロン用備品等	7 件
	11 件
障がい者スポーツ用具	11 件
	14 件
合計	174 件
	159 件

15. 在宅福祉サービス3事業所の経営

介護保険法や障害者総合支援法における介護サービスのほか、独自サービスや行政からの委託事業などを実施し、在宅生活を支えた。

- (1) 大口社協居宅介護支援事業所（介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合）
- (2) 大口社協訪問介護事業所（介護、介護予防・日常生活支援総合、障害者総合支援、独自）
- (3) 大口社協デイサービスセンター（介護、介護予防・日常生活支援総合、独自）

ア. 3事業所の実績

* 上段は平成30年度実績・下段は平成29年度実績

* 利用者数（延べ人数）は、平成30年度1年間の延べ利用者数
平成31年3月末現在の実利用者数

①大口社協居宅介護支援事業所（介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合）

区 分	<u>日常生活支援総合</u>	要支援1～2	介護度1～2	介護度3～5	合 計
利用者数 (延べ人数)	49名	117名	553名	215名	934名
	—	207名	520名	232名	959名
利用者数 (実人数)	4名	9名	52名	16名	81名
	—	15名	39名	21名	75名
収 入	687,313円			9,132,406円	9,819,719円
	813,450円			8,863,536円	9,676,986円
増 減	▲126,137円			268,870円	142,733円

②大口社協訪問介護事業所

（介護、介護予防・日常生活支援総合、障害者総合支援、独自）

区 分	居宅介護等（※1）		障害者総合支援	合 計
	<u>日常生活支援総合</u> (現行の訪問介護相当)	介護1～5		
利用者数 (延べ人数)	920名	3,214名	2,928名	7,062名
		4,263名	2,495名	6,999名
利用者数 (実人数)	9名	18名	35名	62名
		32名	28名	63名
収 入		12,674,856円	13,518,600円	26,193,456円
		13,087,393円	11,370,288円	24,457,681円
増 減		▲412,537円	2,148,312円	1,735,775円

③大口社協デイサービスセンター（介護、介護予防・日常生活支援総合、独自）

区 分	通所介護 （※１）	介護予防 通所型サービス （日常生活支援総合のう ち現行の通所介護相当）	介護予防 通所型サービスミニデイ （日常生活支援総合のう ち通所型サービスA）（※２）
利用者数 （延べ人数）	① 3,764 名 ② 838 名、① 3,634 名	1,077 名 —	687 名 —
利用者数 （実人数）	① 24 名 ② 8 名、① 25 名	16 名 —	25 名 —
収 入	31,144,682 円 35,030,173 円	10,030,455 円 —	
増 減	▲3,885,491 円	10,030,455 円	

区 分	いきいき教室（※３）	合 計
利用者数 （延べ人数）	174 名 1,540 名	5,702 名 6,208 名
利用者数 （実人数）	0 名 20 名	65 名 62 名
収 入	452,400 円 4,004,000 円	41,627,537 円 39,034,173 円
増 減	▲3,551,600 円	2,593,364 円

生きがい活動（※４）
0 名
0 名
0 名
0 名
0 円
829,998 円
▲829,998 円

（※１） 予防給付のうち、訪問介護・通所介護は平成30年4月より介護予防・日常生活支援総合事業へ移行

（※２） 平成30年6月より事業開始

（※３） 平成30年5月末をもって事業廃止

（※４） 平成29年3月末をもって事業廃止

（４） 毎月経営会議を開催し、経営強化に努めた。

（５） 介護職員の研修会等への参加を促進し、スキルアップやサービスの質の向上に努めた。愛知県ホームヘルパー連絡協議会ブロック別研修会開催に努めた。

16. 防災・災害事業

防災・災害に関する啓発活動や、ボランティア団体等と協働し、災害救援や防災のノウハウを広めながら、町民の防災意識の高揚を図った。

(1) 大口町防災啓発事業を受託した。

*防災・災害に関する講演会を開催し、地域の防災意識の高揚と、防災力の向上を図った。

ア. 防災講演会

第1部 講師 アイリンブループロジェクト実行委員会代表 菅原 淳一 氏
演題 「奇跡の花で、寄り添い忘れない防災リレーを！」

第2部 講師 災害救援ボランティア 代表 安藤 巖氏、志村 愛子氏
演題 「子どもの命を守るために～子ども自身ができる防災を伝えよう」
情報支援 要約筆記スマイル大口

開催日	場所	内容	参加数
平成30年 7月14日	健康文化 センター4階 ほほえみホール	第1部は、忘れない防災のシンボルとして、東日本大震災の犠牲となった少女の名を付けた花を全国に広げるプロジェクトを紹介。 第2部は、子どもの命を守るをテーマに、災害救援ボランティアが子ども向け防災教育の活動を発表し、町民の防災意識向上を図った。	111名

*防災・災害に関する講座及び訓練を実施し、ボランティア養成に努めた。

イ. 誰でもできる！家具転倒防止講座の開催

講師 小牧防災リーダー会

成果 地域住民向けの防災啓発講座と、生活支援サービスおたすけ隊協力会員の研修を兼ねて開催。高齢者・障がい者宅を訪問する機会のある協力会員や、工具等の取扱ができる協力会員が参加し、家具転倒防止について理解を深め、人材育成につながる研修を行うことができた。

開催日	内容	参加数
平成31年 1月29日	家具転倒防止の基礎や転倒防止グッズの活用方法を学びながら、ガラス飛散防止フィルム張り、木枠のビス打ち等の実習、質疑応答	14名

(※)「18. 生活支援体制整備事業」(4)の項目で別記

(2) 地域の防災訓練において、各種訓練等を実施する。

ア. 地域の防災訓練への参加・協力

開催日	場所	訓練等名称	内容
10月29日	大口北小学校 体育館	北地域 避難・防災訓練	ボランティア団体とともにブース出展を行い、災害時のトイレ講座を開催。 停電や断水で水が流れないときに使えるポリ袋の携帯トイレの作り方の実演と災害用トイレのPRを行い、住民の防災意識の向上を図った。
11月25日	大屋敷学共	大屋敷地区 防災対策講話	上記同様、災害用トイレのPRを行い、住民の防災意識の向上を図った。

(※)「18. 生活支援体制整備事業」(1)の項目で別記

イ. ふれあいまつり会場での炊き出し訓練

開催日	場所	内容
11月4日	中央公民館 駐車場	ふくしわくわくランドの大口絆つなぐネットのブースで、ボランティアと社協職員が災害時炊き出し訓練を行い、みそおでん300食を配布した。

(3) 岩手県遠野市社協との相互応援協定締結により災害時相互応援協定継続事業を実施した。

ア. 平成30年7月豪雨災害被災地支援ボランティアバスによる被災地復興支援活動

開催日	場所	内容
10月13日 ～ 10月15日	岡山県倉敷市 倉敷市災害 ボランティア センター	災害時相互応援協定締結の経験を活かし、西尾張ブロック社協が合同で運行したボランティアバスにより職員を被災地へ派遣した。豪雨による水害の復興支援ボランティア活動を行いながら、社協災害ボランティアセンターの運営について学んだ。

17. 生活支援体制整備事業

大口町生活支援体制整備事業を受託し、生活支援コーディネーターとして、住民・関係団体・行政等の関係者の連携・協働を推進しつつ、地域に必要とされる通いの場や生活支援サービスの創出に向けた取り組みを行った。

社会福祉協議会ならではの視点を活かし、高齢者だけでなく障がい者や子育て世帯、生活困窮者世帯等の住民を含め、誰もが孤立せず、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、まるごと包み込みささえあう地域づくり、「地域共生社会」の実現を住民とともに考え進めた。

*生活支援コーディネーター業務の活動実績

本事業は、社協の地域福祉事業と共通点が多く、本事業の業務と社協事業の業務を整理・融合しながら実施した。

担当日常生活圏域	活動件数
第2層協議体（北地域）	168件

- (1) 地域で行われる話し合いの場に出向き、ふれあいサロンや生活支援サービス等の仕組みづくりを含めた見守り支え合う地域づくりを住民とともに考えた。

ア. ふれあいサロン立ち上げに向けた支援

月日	内容
8月	垣田区ふれあいサロンの立ち上げについて、住民・区長と意見交換。区長の下承を得て、サロンボランティア募集のチラシを回覧、掲示板に貼る等のPRを行った。
平成31年 2月	上小口区ふれあいサロンの立ち上げについて、住民と意見交換。区長の下承を得て、サロンボランティア募集のチラシを広報に折り込み、全戸配布した。次年度のサロン立ち上げに向けて準備を行った。

イ. 住民に対する地域包括ケアシステムの啓発

①大口町北地域自治組織 第2回 福祉講座

場所：健康文化センター1階 ほほえみホール

月日	内容	参加者数
9月29日	「地域包括ケアシステム」をテーマにした講座において、講話の一部を担当。地域（まち）の宝物ってなあ〜に？と題し、身近な北地域の話題を中心に説明し、地域包括ケアシステムの啓発に努めた。	44名

②広報紙『社協だより』による周知・PR及びその取材

「地域包括ケアシステムってこういうこと」シリーズ①～④

発行号	内容
2018年4月号(第102号)	サロンでの地域ふれあい会食会
2018年7月号(第102号)	サロンでの地域ふれあい会食会
2018年10月号(第103号)	大口町の「住まい」特集
2019年1月号(第104号)	おたすけ隊、地域ふれあい会食会

(2) 町の社会資源を把握するため、既存の地域拠点等の調査を行い、地域資源マップの情報補強及びふれあいサロンマップ作成を行った。

(3) 地域住民の誰もが参加できるふれあいサロン活動の拡大を推進した。

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(4) 住民参加型の生活支援サービス「おたすけ隊」の実施に向けて、人材育成研修や運営の体制整備等を行った。

ア. 生活支援おたすけ隊研修

場所：大口町生きがい活動支援センター

回数	開催日	内容	受講者数
第1回	5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・おたすけ隊って何？生活支援サービスを紹介 ・困っている人の困りごとを知ろう 講師 地域包括支援センター 井上管理者 <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 生活支援を語ろう 	14名
第2回	6月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のふりかえり ・ヘルパーさんに聞いてみよう 講師 大口社協訪問介護事業所 石原管理者 <ul style="list-style-type: none"> ・おたすけ隊のしくみ、保険加入等の説明 	13名

イ. おたすけ隊サービス協力会員登録説明会

場所：健康文化センター2階 ボランティア室

開催日	内容	参加者数
9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・「協力会員のでびき」により、サービスの内容、活動の注意点、協力会員の心得、保険の補償等の説明 ・意見交換・質疑応答 	14名 (その他 後日対応)

(5) 地域における高齢者の日常生活支援に係る支援ニーズと、「おたすけ隊」の活動のマッチング・コーディネート等を行った。

ア. おたすけ隊サービス事業概要

- ・事業開始日 平成30年10月17日
- ・事業目的 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者や障がい者等で福祉的な配慮のもと日常生活上の支援を要する者に対し、住民どうしの助け合いによる簡易な生活支援であるおたすけ隊サービスを提供するとともに、地域の見守りと助け合いを推進することを目的とする。

イ. おたすけ隊サービス登録会員

(平成31年3月31日現在)

会員種別	人数	男女別	平均年齢
利用会員	14世帯 20名	男性 7名 女性 13名	79.2歳 (65歳以下の障がい者を除く)
協力会員	20名	男性 8名 女性 12名	70.2歳 (利用会員登録の協力会員を除く)

ウ. 生活支援ニーズとおたすけ隊サービスの活動のマッチング

(平成30年10月17日～平成31年3月31日)

	件数	主な内容
相談 (ニーズ)	28件 ※初回相談のみ	<p>単身高齢者、高齢者世帯、障がい者世帯、ケアマネジャー等からの相談。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持病・障がい・腰痛等により、高い所・低い所の掃除、電球交換、水栓パッキンの交換、重い物の移動、まとめてごみ出し等ができない。 ・免許返納後、車で買い物に行けなくて困る。 ・まだ介護は必要ないが、ちょっとした家事に困る。公的ヘルパーを利用している場合でも、電球交換等是对応してもらえないため困る。
実施サービス (活動のマッチング)	延べ40件	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物（サービスに必要な物品購入を含む） ・風呂・洗面台等水回りの掃除、床拭き、エアコンフィルター・換気扇の簡単な掃除 ・電球交換、電灯取替、電灯掃除のための取り外し ・洗濯機ホース取付、水栓パッキン取替、水栓ホース取替 ・リサイクルセンターへの資源ごみ・不燃ごみ出し、可燃ごみのごみ出し ・庭木片付け、窓拭き ・シーツ交換、洗濯 等

エ. おたすけ隊コーディネーターの具体的な業務

- 1) 社協窓口または電話・FAXで、利用相談を受付。
- 2) 利用相談者の自宅を訪問し、アセスメント。利用会員登録を受付。
- 3) 利用会員のニーズと協力会員のマッチングし、訪問をコーディネート。
- 4) アセスメントシート・「サービス依頼書」等、必要書類の作成。
- 5) 利用会員の自宅を訪問し、協力会員との顔合わせ、サービス実施後のチケット受渡し、記録まで立ち会い。
- 6) 継続利用の場合は、利用状況のモニタリング。

オ. その他、生活支援ニーズに関する連絡調整、情報共有、会議等

- 1) 地域包括支援センターとの連携・調整 1回(単身高齢者の介護認定申請)
- 2) おたすけ隊サービス利用会員に関する会議 1回

(6) 関係者間の情報共有、生活支援サービス提供主体間の連携の体制づくり等

ア. 生活支援サービス提供主体間の連携

場所：大口町コミュニティー・ワークセンター会議室

開催日	内容
10月11日	大口町コミュニティー・ワークセンターのワンコインサービスと、社協のおたすけ隊サービスのすみわけについて打合せ、意見交換

イ. 関係機関との情報共有、協力依頼

単身高齢者・高齢者世帯宅を訪問する機会のある地域包括支援センターと民生委員に協力を依頼し、訪問時にチラシを配布いただいた。

(7) 生活支援サービス提供主体等が参画する定期的な情報共有・連携強化の場との連携・協働に関する業務

ア. 第2層協議体生活支援コーディネーターとして出席した会議等

会議・行事等名称	出席回数
三地域代表者会	12回
北地域自治組織福祉部会(打合せ含む)	7回
まちづくり座談会(南地域・北地域・中地域)	8回
第4回北地域避難・防災訓練(打合せ含む)	3回
北地域自治組織 第2回 福祉講座	1回
北地域自治組織 第4回 福祉の集い	1回
南地域自治組織 認知症勉強会	1回
南地域自治組織 認知症高齢者徘徊搜索訓練	1回
大口町地域包括ケアシステム構築に向けた連携会議	5回

イ. その他、生活支援体制整備事業に関連する研修会等への出席

会議・行事等名称	出席回数
平成30年度生活支援体制整備支援研修	1回
平成30年度生活支援コーディネーターフォローアップ研修(第1回)	1回
平成30年度生活支援コーディネーターフォローアップ研修(第2回)	1回
平成30年度コミュニティソーシャルワーカー養成研修基礎研修	4回
地域懇談会(北地域)	1回
第11回大口町まちづくり協働フォーラム	1回
南地域福祉講座	1回
平成30年度大口町福祉講演会	1回
まちづくり座談会中間報告&まちづくり講演会	1回

(8) 生活課題の解決につながる講座・研修を行った。

ア. 誰でもできる!家具転倒防止講座

(※)「16. 防災・災害事業」(1)の項目で別記

19. 福祉関連事業

(1) 福祉事業功労等の表彰式の開催、社会福祉大会の事務及び参加等を行った。

ア. 大口町表彰式

司 会 音訳ボランティアたんぽぽ

情報支援 大口町手話サークルコスモス、要約筆記スマイル大口

開催日	場所	内容	来場者
11月23日	健康文化センター 4階 ほほえみホール	社会福祉協議会の顕彰者 ・社会福祉協議会会長表彰 家庭介護5年以上 1名 ・社会福祉協議会会長感謝 福祉事業増進のための寄付 1名	80名

イ. 愛知県社会福祉大会

開催日	場所	顕彰者	参加数
10月30日	愛知県体育館	大口町社会福祉協議会推薦分 県社会福祉協議会会長表彰 1団体 県社会福祉協議会会長感謝 5団体	約1万名 (会全体)

(2) 点字投票制度への協力を行った。

(3) 社会福祉事業に関する福祉サービス苦情解決制度により、苦情解決を行った。

ア. 第三者委員への苦情報告件数 2件